

# 北大経済学部同窓会報

第32号

発行者  
北海道大学経済学部同窓会

発行日  
2016年8月31日

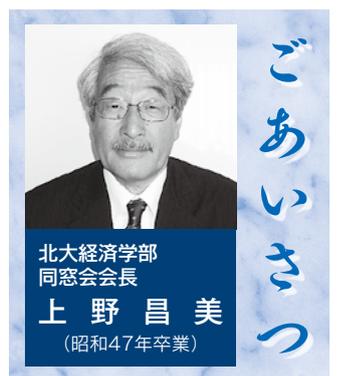
電話&FAX  
(011)706-4113

email  
dosokai@econ.hokudai.ac.jp

経済学部卒業者数  
10,044名



北大経済学部同窓会員の皆様に、同窓会報第32号をお届けします。  
この1年で北大の全学同窓会組織の再編成が急速に進みました。北大の連合同窓会は昨年6月に組織の在り方についての中間報告を総会に提出しましたが、その内容をほぼ踏襲した最終報告が本年1月になされて、結論として新たな全学同窓会組織の設立が提言されました。この提言を受けて設立準備委員会が設置され、6月1日に連合同窓会は解散し、新たな全学同窓会組織・校友会エルクムが設立されました。前号では全学同窓会への移行は少し先の話になるだろうと書きましたが、短い準備期間を経て校友会エルクムへの移行が行われたわけです。その背景には、本年4月からの第3期の中期目標期間および10年後の創基150年に照準を合わせた近未来戦略150の目的達成のためには、全学同窓会が大学に伴走する緊急性が格段に高まったことがあると思います。ちなみに、創立総会で採択された「会則」によれば、校友会エルクムの目的は、会員相互間の親睦と併せて、北大の目的達成のために連携・協力することに置かれています。さて、校友会エルクムの最大の特徴は、会員資格の範囲を広げ、卒業生だけではなく、在学生、教職員、保護者など北海道大学のすべての関係者に拡大したことです。そして、組織としては、理事会のもとに各種委員会を設け、将来的には支部が組織されることとなります。こういう組織の財政的基盤を確固たるものにするために、来年4月の



北大経済学部  
同窓会会長  
上野 昌美  
(昭和47年卒業)

新入生会から終身会費を徴収することになりました。それは、経済学部同窓会と校友会エルクムの関係はどうなるのでしょうか。校友会エルクムでは、これまで連合同窓会を構成していた学部同窓会や地区同窓会などは「基礎同窓会」と位置付けられることになり、校友会の設立とともに自動的にその会員となることになりました。したがって、経済学部同窓会も校友会エルクムの設立と同時にその基礎同窓会となり、会員の皆様はすでに校友会エルクムの会員となったわけです。  
校友会エルクムの本格的な活動は、来年の4月に新入生が会員になった時点から始まります。それまでの間はしばらく助走期間として、主要な学部同窓会と地区同窓会の会長から構成された理事會が、組織活動を詳細にデザインする予定です。私も経済学部同窓会を代表して理事に就任いたしました。今後、経済学部同窓会は、従来の同窓会活動に加えて、他の基礎同窓会との交流、大学や経済学部との連携・協力などの諸課題に真剣に取り組んでいくことになるでしょう。会員の皆様のご意見を経済学部同窓会および校友会エルクムの活動に反映したいと考えておりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。さて、9月24日には第5回ホームカミングデーが開催されます。経済学部同窓会では、同日に総会を開催し、懇親会は昨年引き続き文系四学部の合同で開催する予定です。会員の皆様には、ホームカミングデーの四学部合同の記念事業と合同懇親会にご参加くださいますようお願い申し上げます。また、この会報が皆様のお手元に届いた後には、5年ぶりの同窓会名簿が刊行されますので、楽しみにお待ちください。

本号では、町野和夫大学院経済研究科長・経済学部長からは経済学部の近況についてのご寄稿をいただきました。また、同窓生の方々からも多数の近況報告が寄せられました。ご寄稿くださいました皆様並びに会報作成にご協力くださいました皆様に心から感謝し、ごあいさついたします。

# 巻頭言

## 続く、大学院の組織改編

### —幅広い能力を育てる 教育システムを目指して—



経済学研究科長・  
学部長  
町野 和夫

本年4月から思いがけず、再び研究科長・学部長を務めることになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。前回(2009年8月から2012年3月)は、任期後半に

東日本大震災があり経済学部の学生が北大でただ一人の犠牲者になるという悲しい出来事がありました。ご遺族やご友人の心の痛みはいまだに消えないと推察いたしますが、全ての本学部関係者にとっても東日本大震災の記憶とともに追悼の思いは残っていくことと思います。

さて昨年度の同窓会報で吉見前研究科長から説明がありました通り、北海道大学大学院経済学研究科は来年度から教員の属する経済学研究科と大学院教育を行う経済学院に改組し、経済学部とあわせて三つの組織に再編されることとなります。2000年に現在の大学院重点化で教員が経済学研究科に移ったのを皮切りに、2005年には研究科内に「会計情報専攻」、いわゆる会計専門職大学院(アカウンティング・スクール)を新設、同時に法学部、工学部と共に公共政策大学院を設立し、さらに、今回の組織改編にあわせて、

農学部が主体となつて開設する国際食資源学院に参画するなど、めまぐらしい組織改編が続いています。

北大全体でも、海外への留学を前提とした新渡戸カレッジ(学部プログラム)や新渡戸スクール(大学院プログラム)、海外からの留学生が英語で入学できる現代日本学プログラム(学部)や英語で教育を行う複数の国際大学院(国際食資源学院もその一つ)など、新たな教育組織を設置しており、経済学部・研究科からも学生が参加しています。また、研究活動でも様々な全学的プロジェクトが進められており、本研究科からも参加しているものには、国立極地研究所や海洋研究開発機構と協力して開設した日本における北極域研究のナショナルセンターである北極域研究センターや、国の革新的イノベーション・プログラムの一つである「食と健康の達人」拠点などがあります。

しかしこうした教育・研究面での新しい試みも、国の財政難による予算削減の影響を受け、資金力で圧倒的な差がある欧米やアジアの有力大学との競争を生き残るには、力不足の感は否めません。海外と互角に競

争していくためには、教育への公的投資の思い切った増加が必要なのはもちろんです。初等中等教育からじっくりと人を育てるという長期的視点を持って、学力だけではない幅広い能力を養成する教育システムを作ることが重要です。欧米でも、米

国や英国では、初等中等教育から大学まで、豊富な資金力で手厚い教育を行うエリート校と資金不足に悩み問題を抱える公立校が併存し、ドイツや北欧諸国でも、大学まではほぼ無償の公教育が提供されるものの、移民の増加や早い年齢での進学コースの選別による教育格差の問題があるなど、どの国も完全な教育システムを持っていないと言えません。

厳しい財政事情に加え、少子化という問題が顕在化してくる中で、日本にとって最適な教育システムは何かという模索はまだまた続くと思います。もちろん本研究科・学部も、その一端を担うべく努力していくつもりですので、どうか同窓会の皆様にもなお一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 書籍部クラーク店は生協会館2階で営業中



明るくゆったりした店舗を是非一度ご覧ください。

営業時間 平日 10:00 ~ 19:00

土曜 10:00 ~ 15:00 日祝休業

店長 上端

北海道大学生協同組合 理事長 柿澤 宏昭  
札幌市北区北8条西7丁目 TEL. 011-746-6218

大学生協北海道事業連合 理事長 吉見 宏  
札幌市北区北8条西7丁目 TEL. 011-726-9148

# 北大の近況

## 北大ホームカミングデー 2015の開催

9月26日朝からホームカミングデーの全学行事「歓迎式典・記念講演会」が行われ、北大交響楽団による演奏の中、会場となったクラーク会館講堂には多くの同窓生や関係者が集まりました。司会は経済学部OGの北海道放送（HBC）船越ゆかりさんが務め、最初に、山口佳三総長が「進化する北海道大学」と題して本学の近況を報告しました。「同窓生の皆様には本学の強力な応援団になっていただきたい」とのメッセージが送られ、次に石山 喬北大連

合同窓会会長が連合同窓会の果たす役割や意義について話されました。続いて、小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトに携わる理学研究院の塚本尚義教授が「ここまでわかった！「はやぶさ」による科学 何がわかる？」「はやぶさ2」による科学」と題して講演を行い、わかりやすくユーモアを交えながら研究



本学の近況を報告する山口総長



歓迎の挨拶を述べる石山会長

内容を説明しました。

そして、歓迎のステージでは、マンドリンクラブの北大チロコロ・マンドリニスティコ「アウロラ」が、優しい曲調からダイナミックな曲まで4曲を披露しました。

ステージの締めくくりは、「都ぞ弥生」の斉唱で、会場が一体となりフィナーレを迎えました。同窓生の皆様には本学の「今」を十分体感していただけたようです。

また、式典開始前には、オープンエデュケーションセンターの藤田良准教授が制作した映像が上映され、本学の特色や色彩豊かなキャンパスがスクリーンに映し出されました。

## 平成27年度 学位記授与式

平成27年度学士学位記授与式が3月24日に、本学第一体育館において執り行われました。

学位記授与式は、北大交響楽団による「エルクの鐘」の演奏の後開始され、水産学部を除く11学部の卒業生2,331名を代表し、各学部の総代へ学部長から学士学位記が授与されました。

山口佳三総長は卒業生への告示の中で、時代に流されない2つの指針をとして、「生涯にわたって学ぶ姿勢を身につけること」と「これからの人生を常に社会と向き合って歩むこと」の重要性を話されました。

また、翌3月25日に、ロワジールホテル函館において水産学部卒業生193名を代表し、各学科の総代へ水産学部長から学士學位記が授与されました。



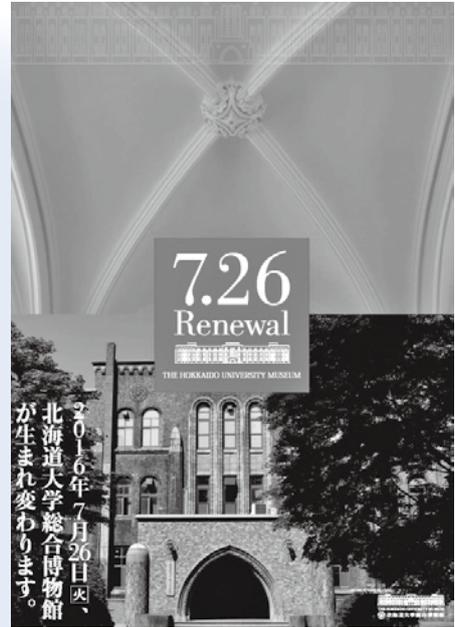
学位記を受ける総代

## 北海道大学総合博物館がリニューアルオープンしました(2016年7月26日)

北大の学術活動で収集・保存・研究されてきた標本・資料の展示に加え、学内全12学部を紹介する展示や、博物館活動のバックヤードが見られるミュージアムラボが新設されました。

カフェやミュージアムショップ、多目的スペースを備え、これまで以上に学生や教職員、そして市民の方々に親しまれる博物館を目指しています。

開館時間 10時～17時（6月～10月の金曜日は10時～21時）  
休館日 月曜日・年末年始（12月28日～1月4日）  
※月曜日が祝日の場合は開館し、連休明けの平日が休館日となります。



**北海道大学総合博物館、2016年7月26日(水)リニューアルオープン!**

本館は平成13年に開館以来、学術活動で収集された標本・資料の展示・研究に努めてまいりました。リニューアルオープンにあたっては、学内全12学部を紹介する展示や、博物館活動のバックヤードが見られるミュージアムラボを新設し、カフェやミュージアムショップ、多目的スペースを備え、これまで以上に学生や教職員、そして市民の方々に親しまれる博物館を目指しています。

- ◎自然史の展示 (1階)
- ◎学術資料の展示 (2階)
- ◎12学部の展示 (1階・2階)
- ◎大学の展示 (1階)
- ◎ミュージアムラボ (1階)
- ◎物の交差点 (1階)

2016年7月26日(水)、北海道大学総合博物館がリニューアルオープンします。新設されたミュージアムラボやカフェ、ショップなど、これまで以上に学生や教職員、そして市民の方々に親しまれる博物館を目指しています。

〒060-0810 北海道札幌市北区北14条5丁目1-1 北海道大学総合博物館  
TEL: 011-645-2333 FAX: 011-645-2334  
http://www.museum.hokudai.ac.jp/

# ゼミ紹介 第一回

## 経営管理論 谷口勇仁教授

### 谷口ゼミ

#### ①ゼミ長のゼミ紹介

##### □3つの課題

こんにちは！15期生ゼミ長の 大井晋平です。僭越ですが谷口ゼミを代表してゼミ紹介をさせていただきます。谷口ゼミでは主に3つの課題に取り組んでいます。

第1に、輪読です。課題テキストをゼミ生全員が読み、みんなで話し合いをします。毎週、報告者1名がレジメやパワーポイントなどを作成して発表をし、みんなが分からなかった点について話し合う進行役をします。ほかのゼミ生は、議論に遅れずに話し合いができるように、最低5回以上は読み込んで参加しています。基本的にはゼミ生だけで話し合いを進めていきますが、どうしても行き詰った場合や、テキストに深い理解が必要になったときには、谷口先生から助言をいただきます。また3年生は、テキストの中から疑問点を見つけ、本などを参考にして自分なりの答えを出したものを報告します。問いと答えがマッチし、かつありきたりな結論になってしまわないようにすることはとても難しいです。苦労して結論を出したのに、先生やゼミ生に笑われてしまうようなものになることも少なくありません。

第2に、製品開発です。毎年3年生が2つのグループに分かれ、新製品を企画し、競って報告を行



います。製品開発での現状分析のために、アンケート調査をしたり、ターゲットとなる人間像と同じ行動を試みたりなど、様々な手段でアプローチをします。2、3人でのグループワークとなるので、1人ではできないことや、グループで取り組むことの難しさなども同時に学ぶことができます。最後には卒業生の前で発表して勝敗を決めます。製品開発を行う上で、どういった製品が顧客に受け入れられるかなど、ゼミで学んだことを実践によって定着させていきます。さらに、4年生は採用担当としてプレゼンを見ることができ、製品を提案された側の気持ちも学ぶことができます。こうしてゼミを1つの企業のようにすることで、それぞれの立場で考える力を養っています。

第3に、ビジネスゲームです。ビジネスゲームとは、2人で1チームとなり、5社の仮想企業を設立し、経営手腕を競うものです。売上を増やすためには、たくさんの従業員を採用したり、製造工場を増設したり、広告も打ちたくくなります。しかし、各企業の保有する現金は一緒なので、他の企業がどのような戦略をとるのかを予測し、いかに差別化するかが重要となります。当期の売上が知らされた瞬間から、貸借対照表と損益計算書を作成し、すぐに次期の戦略を決めなければなりません。売上げが下がりが倒産の危機に直面すると、每期毎期の金繰りに一杯となり、とても長期の戦略を立てる余裕がありません。ゲームではありますが、企業経営のシビアさを体感することができます。

##### □強いタテ・ヨコの絆

また、課題に取り組むだけが谷口ゼミではありません。次に、谷口ゼミの特徴を2つ紹介しま

す。特徴の1つは、「ヨコのつながり」の強さです。谷口ゼミでは教室以外での交流も多く、月に1度ほどの飲み会をはじめ、春には新歓コンパ、夏にはジンギスカンパーティ、秋にはゼミ合宿、冬には鍋パーティなど、イベントが盛りだくさんです。これらのイベントを成功させるために互いに力を合わせて助け合うことで絆が生まれます。そして、絆が深まることによつて、普通では言いにくいこともお互いに言い合える関係が作られ、自分では気づかなかつたことも指摘してもらえます。指摘を受けることは時に心が痛みますが、自分のためになることを考えれば、指摘してくれる友に感謝しています。ゼミで出会った友は一生の宝物になると思っています。

そしてヨコのつながりに負けず劣らず、「タテのつながり」も非常に強いです。谷口ゼミでは、多くの卒業生がゼミに参加し、ゼミ生のためになるアドバイスをしてくださいます。ゼミの後には飲み会に参加して、昔のゼミでの活動も



聞かせてくださり、ゼミでの苦労がひしひしと伝わってきます。また、社会に出たときに困ったことや、実際に働いてみてわかつた学生時代のイメージとのギャップなどを実体験に沿って話してくださるので、とても参考になります。昔のゼミ生の逸話の中には、案外自分たちと同じような悩みやミスがあったのだと感じられ、自分たちの将来のイメージがつかみやすくなります。タテ・ヨコの強いつながりによつて各地域で谷口ゼミの同窓会が定期的に開かれ、世代を超えて数多くの人が集まっています。

そんな我らが先生は、とても独特の視点を持つ方です。先生のお話を聞いていると、「なるほど!」と、感動することが多々あります。また、先生はとても話し好きなので、私たちゼミ生もついつい先生の研究室で長居してしまうこともあります。大の家族思いで、お子さんや奥様のお話をされるときは、本当に楽しそうに(自慢げに?)話されます。ゼミに入ってから半年ですが、先生が15年間卒業生の皆さんに慕われている理由がすぐにはわかりました。

そんなユニークな先生のもと、私たちは毎日忙しくも充実したゼミ生活を送っています。

#### ②谷口先生のコメント

私は2000年に北海道大学に専任講師として赴任し、2001年からゼミを始めます。途中1年間ゼミをお休みしましたので、2016年現在で、ゼミ生は15期生となり、おおよそ100人弱の学生をゼミ生として迎えています。

私のゼミは厳しいゼミとして有名だと思えますが、当事者としては、ゼミを厳しく運営しようという意識はそれほど持っていません。ただ、前年度や前々年度の学生がどのような課題に取り組んでいたのかはゼミ生にとって非常に気になるようで、「前年度や前々年度にやっていた課題に何か一つ足したい」という想いが、現在のゼミの原動力になっているようです。結果として、学生が主体的にゼミでの課題に取り組み、私



生の無邪気な質問に答えることは、新鮮でもあり、同時にこれまでのキャリアを見直すきっかけになるかもしれません。北大のゼミは昔から少人数教育です。大勢の前の講演を経

がその迫力に引つ張られながらゼミを運営しているというのが正直なところだ。また、現在ゼミを金曜日に行っていることもあり、ゼミ卒業生がしばしば遊びに来てくれます。飲み会だけの参加も含めれば、平均月に一回程度になります。最初は、社会人と何を話してよいかかわからず戸惑う学生も多いのですが、回数を重ねると、役職や部署といった社会人の共通言語に慣れ、会話もスムーズになっていきます。「習うより慣れろ」という諺の説得力を感じる瞬間です。

私が忙しくなり、体力的にもきつくなるころに、卒業生がゼミに参加して刺激を与えてくれるようになったことは本当に助かっています。同時に、卒業生から「先生がゼミをキチンと運営しているかどうか確認しに来ました」という目で見られている気がして、落ち着かない気分にもなることもあります。

最後にこの場を借りて、同窓生にお願いをしたいと思えます。是非、同窓生の皆さんには折を見て、恩師の研究室を訪ねてみてほしいと思っています。卒業生がゼミに参加することは、若い学生の刺激になると思いますが、同時に、同窓生の皆さんも、今の北大生の若さを目の当たりにして、刺激を受けると思えます。若い学生

の無邪気な質問に答えることは、新鮮でもあり、同時にこれまでのキャリアを見直すきっかけになるかもしれません。北大のゼミは昔から少人数教育です。大勢の前の講演を経



日本間由香里さん

私は谷口ゼミの1期生で、自分たちでゼミを作り上げていきたいと思ひ谷口ゼミを希望しました。2年間のゼミはとても濃密で、社会人になるにあたり非常に役立つことが多かったです。2003年に明治乳業株式会社(現・株式会社明治)に入社し、翌年商品開発部に所属になりました。

社会人になってからも谷口ゼミのために何か協力できることはないか、ということに2005年からゼミ生の「製品開発プロジェクト」に携わることになりました。毎年、私から課題を出して学生が飲料や食品の商品コンセプトを考えるのですが、その内容に毎年驚かされます。我々社会人は調査会社を使ってデータを集めたりしますが、学生はコンビニに張り付いてデータを集めたりします。また、学生ならではのアイデアは、我々では考えられないような斬新なものもあります。最初はプレゼン資料だけ送ってくれていましたが、ある年は商品パッケージを送ってくれたり、プレゼン時のDVDを送ってくれたり。最近ではプレゼンの様子がYouTubeにアップされたり!色々な意味で、谷口ゼミは毎年レベルアップしているなと感じます。私からのフィードバックとして毎年講評を送るのですが、その後ゼミ生からお礼のメールやコメントが届き、遠く離れていてもまだゼミとの繋がりが実感できますし、卒業して10年以上経った今も谷口ゼミに貢献していると思うと非常に嬉しいです。これからもゼミ生と谷口先生から要望がある限りは、この取り組みを続けていきたいと思っています。

3 O B ・ O G か ら

を送ってくれたり。最近ではプレゼンの様子がYouTubeにアップされたり!色々な意味で、谷口ゼミは毎年レベルアップしているなと感じます。私からのフィードバックとして毎年講評を送るのですが、その後ゼミ生からお礼のメールやコメントが届き、遠く離れていてもまだゼミとの繋がりが実感できますし、卒業して10年以上経った今も谷口ゼミに貢献していると思うと非常に嬉しいです。これからもゼミ生と谷口先生から要望がある限りは、この取り組みを続けていきたいと思っています。

中山哲学さん



私は2005年に5期生として谷口ゼミに入り、ゼミ長を務めさせていただきました。卒業後は、愛知県にある株式会社豊田自動車にて働いています。谷口ゼミは、経済学部の中ではハードなゼミとして知られていますが、ハードさの中にも温かさがあり、ハードな経験を共有するからこそ生まれる、O B ・ O G も含めたゼミ生同士の強い絆が特徴です。

私が住んでいる中部地方は特にO B ・ O G が多く、「谷口ゼミO B ・ O G 会中部支部」と称したLINEグループで連絡を取り合い、就職や転勤で新たに中部地方へ来たゼミ生の歓迎会を兼ねて、毎年のように同窓会を開催しています。また、ゼミ10周年を迎えた2010年には、4期生ゼミ長のご指示もあり(先輩の指示は絶対です笑)、当時ちょうど真ん中の世代だった私たち5期生が幹事となり、10周年記念同窓会を開催しました。10周年ということに10月10日、3連休の中に札幌での開催でしたが、8割を超えるゼミ生が参加してくださいました。卒業後もこのようなつながりがあることは、私にとって大変貴重な財産です。4年後には20周年迎える谷口ゼミのますますの発展を祈念し、今後O B ・ O G 会を盛り上げていきたいと思ひます。

4 ゼミ訪問記

北大経済学部の卒業生にとって、学生時代を振り返って一番印象に残るのは「ゼミ」だろう。今号からの新企画に勢いよく名乗りを上げてくれたのが谷口ゼミ、さっそくゼミに参加させてもらった。その日のテーマは「複眼的戦略アプローチの応用」、事前にテキストのコピーをいただいて実



に45年ぶりのゼミ出席である。ゼミ生に温かく迎え入れていただいたが、一旦始まると真剣、深淵、丁々発止、横に置かれた飲み物と菓子類を忘れるほどの議論のやり取りに圧倒され、数時間で退散のお許しをいただいた。

谷口教授は2010年に北大大学院経済学研究所教授になられ、主著は「企業事故の発生メカニズム―手続きの神話化が事故を引き起こす―」(2012年白桃書房)などがある。

北大に来られる前、名古屋大学で理学修士と経済学博士の両学位を取得された「異色」の先生。厳しい反面、熱心で血の通った指導ぶりは一貫しており、お人柄と求心力で多くの卒業生に囲まれておられる。

私が退出したあともゼミは夜間まで及んだと聞いた。

(6月10日)

制作協力 谷口ゼミ15期生  
大井晋平、菊池祐里子、北島壮一郎、  
福井潤也、藤村和史

# 名誉教授懇談会開催

学術専門職 塚田 久美子

第2回名誉教授懇談会が2016年3月17日、北海道大学ファカルティハウスエントレイソウ「レストランエルム」で開催されました。

当日は、多忙な中、荒又重雄先生（1967年～1996年在籍、北大経済学部卒、北海道労働文化協会会長）、石坂昭雄先生（1966年～1999年在籍）、黒田重雄先生（1970年～2002年在籍）、内田和男先生（1975年～2009年在籍、北海道武蔵女子短期大学学長、濱田康行先生（1981年～2010年在籍、はまなす財団理事長）、吉田文和先生（1978年～2015年在籍、愛知学院大学教授）にご出席いただき、吉見宏研究科長、久保田肇副研究科長がオーガナイザーとして、また次期研究科長として町野和夫教授、次期副研究科長として平本健太教授が出席いたしました。

昨年初めての試みとして設けられた懇談会も第2回目を迎え、出席いただいた名誉教授も6名となりました。みなさまの近況を報告し合いなが



ら、なごやかに会を進めるところができました。吉見研究科長からは研究院・学院化の進捗状況とダブル・ディグリー構想の説明があり、転入・転出教員の報告と次期研究科長副研究科長の紹介がありました。スーパードローバルやさまざまな学院構想など大学をめぐる状況を報告され、名誉教授のみなさまの怠惰のないご意見をいただき、ランチを囲んでの短い時間ではございましたが、時間はあっという間に過ぎ、次回は一層多くの名誉教授にご出席いただけるよう、今後もこのような場を継続していきたいということ、閉会いたしました。

# 経済学部・法学部 同窓会対抗ゴルフ大会

7月9日、好天の札幌エルムカントリークラブで伝統の一戦「第36回北大経済・法学部対抗ゴルフ大会」が行われました。爽やかな初夏の風の中、プレーヤーは日頃鍛えた技量をいかんなく発揮し、好プレー、珍プレーの連続に笑いの絶えない一日を過ごしました。経済学部の岩本栄一さん（S49年卒）が見事優勝し、団体戦も経済学部が勝利して法学部の2連覇を阻止しました。総勢17名のうち経済学部は11名と参加者においても法学部を圧倒しました。

プレー後の表彰式では年代、学部、ハンデ差を乗り越えた和気藹々の雰囲気を楽しめる時間が過ぎました。来年の再会を約し、下位者にも厚い配慮がされた賞品を手それぞれ家路につきました。

来年は倍の参加者でやりましよう！ 定年に入った方、若い人、女性、腕自慢、初心者みんな大歓迎です。来年も6月～7月に行う予定です、お問い合わせは事務局へお気軽に。



心のリゾート  
海の別邸 **ふる川**

白老郡白老町虎杖浜289-3  
(0144-87-6111)  
<http://www.kokorono-resort.com>  
(ナトリウム塩化物系 pH8.2)



ぬくみの宿 **ふる川**

札幌市南区定山溪温泉  
(011-598-2345)  
<http://www.yado-furu.com>  
(ナトリウム塩化物系 pH6.7)



運河の宿 **ふる川**

小樽市色内1丁目2番地  
(0134-29-2345)  
<http://www.otaru-furukawa.com>  
(ナトリウム塩化物系 pH7.5)

代表取締役 古川 善雄 (経済学部 37年卒業)

# 就職状況

今年も経済学部及び大学院卒業生の就職率は96・1%と好調が続いています。業種別では「金融・保険」が36人と昨年に続きトップ、以下「公務員」23人、「情報通信」21人でした。

母校を巣立って社会人となった彼(女)らと社内外で会った際は、温かい励ましの言葉を是非お願い致します。

【7人】札幌市

【5人】道銀

【4人】トヨタ、北電、日政策銀、

【3人】新日鉄住金、三菱電、道

開発局、ペイロール

【2人】村田製、川重、デンソー、

あおぞら銀、商工中金、野村証、

北洋銀、三井住友銀、みずほF、

大和証、トーマツ、新日本監、マ

クロミル、電源開発

【1人】竹中工、ドーコン、戸田

建、長谷工、日立プラ、大和ハ、

イオンフード、イッセセミヤケ、住

友化、日産化、昭和電工、JFE

E、住友セメ、住友電工、日鉄セ

メ、共和電業、古川電気、カシオ

東芝、富士通、フルテック、ミマ

キエンジ、リコー、アドヴィツ

ク、ヤンマガグリ、岡村製、コク

ヨ、凸版フォ、中部電、北陸電

日原燃、NTTデ、OST、コー

エテクモ、STV、道新、シーズ

ラボ、Jエフエム、昭和システ、ソルドアウト、ソフトコム、東映アニメ、IBM、野村総研、NTT東、富士通F、Fingert、マキユリ、ワークスアプリ、王子マ、凸版印、ソーゴ印、伊藤忠、兼松、三菱商事、モロコ、ユアサ商、イオン、セイコマ、ト、ダイハツ北海道、西松屋チ、ニトリ、バロー、ローソン、S M B Cフレンド、札幌信金、信金中央、新生銀、第四銀、日政投銀、道農協連、三住友銀、山形銀、りそな銀、りそなH、全農協連、アコム、中国華夏銀、中原証券、拓商銀、第一生命、東京海上、日本生命、明治安田、札幌開発、UR、ビッグ、三住不り、読売不、エアドウ、道エアシテム、S Gホールディング、日鉄物流、日立物流、日通、中央バス、かなめ税法、あづさ監法、PWCあらた、PWC税法、Deloitte、ブレインパッド、ホープス、池脇会計、産業総研、日鉄住金ソリュ、日ユニシ

ス、東武ツア、JTB、ディッブ、ネクスコ東エ、リクルートキヤ、愛知労働局、愛媛労働局、大阪税関、関東財務局、関信国税局、東北整備局、道経産局、道公安調査局、秋田県警、都庁、富山県庁、福井県庁、函館市、盛岡市

## 恩師の異動ほか

平成27年8月

教授 荻野 昭一

金融庁へ

助教 王 磊

中国・徐州学院大学へ

同9月

准教授 工藤 教孝

名古屋大学へ

助教 村上 理

大同大学へ

助教 小林 陽介

日本証券経済研究所へ

平成28年3月

助教 久永 忠

一橋大学へ

助教 村上 明子

辞職



平成27年度

## 経済学部同窓会、懇親会

昨年9月26日(土)に北大構内記念講演会、同窓会総会および懇親会が開催されました。

4学部合同で行われた記念講演会には興味を引くテーマ(北海道新幹線開業が意味するもの)というところで、OB、OG以外にも多くの市民が参加し会場は満杯となりました。JRで開業に携わってきた長谷川潤さん(平成6年卒)もパネラーとして数々の貴重なお話を披露してくれました。その後は各学部に分かれ同窓会を開き、午後5時半より再び4学部合同で中央食堂に集まり「懇親会」が開かれました。

大学側から来賓のご挨拶をいただいたあとは、生協渾身の料理を囲んでいくつもの歓談の輪ができ、遠方より来道されたOBも久方ぶりに旧交を温められておられました。

最後は恒例の「都ぞ弥生」を大合唱。会場は学生時代さながらの熱気に包まれ、参加者は再会を約して帰途につきました。

今年の総会も9月最終週の土曜日(24日)に行います(19ページにご案内させていただきました)。

## 受賞の喜びと

## 感謝の思い



吉岡 颯人

この度は、私が執筆した卒業論文を同窓会長賞に選んでいただき、誠にありがとうございます。同窓会長賞という名誉ある賞をいただけたことを大変嬉しく、光栄に思っております。

私は、「幼稚産業保護と半導体産業—1980年代前後における韓国・台湾の事例分析—」という題目で、卒業論文を執筆しました。この論文では、1980年代前後における韓国および台湾の半導体産業に注目して、各国政府が半導体産業の成長を促すために講じた幼稚産業保護政策を、理論的な観点から評価しました。簡単ではありますが、以下でその内容について述べていきたいと思います。

この論文の中心となる議論は、幼稚産業保護です。幼稚産業保護は政府による産業政策手段の一つであり、国際競争力を持たない幼稚産業を保護育成するための理論です。この理論は、私がゼミで2年間学んできた開発経済学の観点からも非常に重要な議論として位置付けられています。途上国は、先進国と比較して先進産業における競争力を持たないことが多いため、幼稚産業保護は途上国が先進

国にキャッチアップするための政策として重要な役割を担っています。しかし、経済の自由化が進む現代社会においては、そのような政府による介入に否定的な見解を示す者が多くいます。そのため論文の中では、国際貿易論に基づく理論的な枠組みを用いて、幼稚産業保護が持つ経済学的な意義を示しました。つまり、ある条件を満たせば、政府による幼稚産業保護政策を理論的に正当化できるというものです。

幼稚産業保護政策は歴史的に見ても多くの国々で採用されてきましたが、その中で私は韓国と台湾の半導体産業に焦点を当てました。半導体産業のような先進産業は、成長産業になると国際貿易で優位性を発揮し大きな収益源となるため、幼稚産業保護の対象となりやすいのです。日本の半導体産業も、国の手厚い保護を受けて世界的な産業となりました（1986年には生産高世界一）。実際に、日本の半導体産業に対する保護政策が有効であったとする研究も多く存在します。しかし、韓国や台湾を中心とする国々の台頭で、日本の半導体産業は国際市場におけるシェアを落とし続けました。韓国および台湾の半導体産業における政府の役割に関する研究はあるものの、それらを幼稚産業保護の観点から論じたものはほとんどありませんでした。そこで私は、リサーチフェロウ・フエローを「韓国および台湾において、政府による幼稚産業保護が各国の半導体産業の成長に対して影響を与えたか」と設定し、幼稚産業保護の枠組みに基づいて、両国の半導体産業に対して講じられた様々な政策を分析・評価しました。

その結果、韓国の半導体産業に対する政策はあまり評価できなかったが、台湾の半導体産業に対するそれは経済的な意義が大きかったことが分かりました。両国の半導体産業は同時期に急速な成長を遂げて世界市場に頭角を現したにもかかわらず、その発展過程における幼稚産業保護政策への評価は異なるものとなりました。この点は非常に興味深い結果であり、この論文における貢献となったと思います。

卒業論文の執筆を通じて、経済学的な知識はもちろんです。相手と手を組んで文章を書くという点で成長することができました。いかに分かりやすく論理的に組み立てるかを意識しながら何度も何度も文章や構成を練り直す中で、客観的に物事を見る力・論理的に考える力が養われましたと感じています。また、同窓会長賞を受賞できたことは、私の中で大きな自信にもなりました。この経験は、これからの社会人生活においても大きな財産になると思います。

最後になりましたが、卒業論文の執筆にあたり、指導教官である樋渡雅人准教授とティーチング・フェローの山田大地氏には貴重なお時間を割いていただき、論文の執筆方法や理論の説明、添削などの確かかつ丁寧なご指導を賜りました。また、39ページの卒業論文を書き上げるまでに多くの苦勞がありました。同じゼミの仲間とお互い励まし合うことで乗り越えることができました。同窓会長を受賞できたのも、皆様のお力添えがあったからこそだと感じております。この場を借りて、厚く感謝申し上げます。

## 卒業生を送る会



3月24日午前中に行われた卒業式に引き続き「百年記念会館」で経済学部・研究科の卒業生を送る会が開催されました。この会は同窓会入会式も兼ねています。

席上、上野会長より200余名の卒業生に対し力強い餞の言葉が贈られ、その後のパーティーでは社会に飛び立つ若者らの安堵感と開放感にあふれた歓声が会場いっぱいに響いていました。

毎年優秀卒論に対して授与される同窓会長賞には吉岡颯人さんの「幼稚産業保護と半導体産業—1980年代前後における韓国・台湾の事例分析—」が選ばれました。



この会には例年、同窓会費より15万円を寄贈し多くの学部関係者や卒業生より感謝の言葉をいただきます。

# 経済学部東京同窓会の報告

経済学部東京同窓会は毎年秋か冬に開催しています。従来はウィークデーにホテルで開催していましたが今年は試みに寿司屋（がんこ寿司銀座一丁目店）で土曜（10月24日）に行いました。

2年毎に経済学部単独での開催と法学部と合同開催を交互に行なっており、昨年は経済学部単独開催で、折よく東京出張中でした平本教授（S62年卒）も含め約20名のOBにご出席頂きました。

毎回、懇親会に先立って第一線で活躍されているOBや北大経済学部長に講演会をお願いしており、今回は吉見宏学部長に札幌のまちづくりについて札幌市電のルーパ化の経緯などを中心に約1時間講演いただきました。

講演後の懇親会では、早野先輩（昭和44



年卒）の乾杯のご発声で始まり、OBそれぞれの近況報告の後はあちらこちらで新たな交流が見られました。お開きの時間をお伝えするのがはばかられるほどの盛況でした。最後は、北大OBが集まった時には欠か

せない恒例の「都ぞ弥生」で締めとなりました。同窓会では世代や業種の垣根を超えた交流ができて、懐かしさや楽しさの中にもたくさんの方の刺激を受けることが出来ます。今後も多くのOBに出席頂きたいと思っております。

今年度は日程調整中ですが、10月下旬から11月中旬までの平日夜に経済学部法学部合同で開催しますので職場帰りに是非ご参加願います。関東にいらつしやるお知り合いのOBがいらつしやいましたら、事務局藤井（e-mail: ijuft@frontier.hokudai.ac.jp）にお知らせいただければ幸いです。また北大東京同窓会ではお馴染みのジンギスカンパーティが大盛況ですが、このほかにもクリスマスや新年に限らず様々な催しが近年充実しています。若い人もドシドシご参加くださいお待ちしております。

東京同窓会事務局 藤井孝先（平成7年卒）

## 卒業生登録システム《@Frontier》にご登録ください。

アットフロンティア



hokudai.ac.jpドメインのメールアドレスは、北大卒業生の証。PC・ケータイ・スマートフォンから、メールをはじめとする各種サービスが利用可能です。

北大を卒業しても、@Frontierで他の卒業生や北大とつながりましょう！

利用資格は北大卒業生。利用料は無料。

生涯にわたりメールサービスが利用可能！

オンライン上で会員検索ができる！

「私書箱」機能も利用可能！

公式サイトから登録可能です  
<http://www.hokudai.ac.jp/frontier/>

スマートフォンからもアクセス可能です！



※1週間から10日程度要する場合がございます。



公式サイトへアクセスし、新規申し込みのボタンをクリックします。



利用規約をご覧の上、ご自分のメールアドレスを送付後、送られてくるURLにアクセス。



登録申請フォームに必要事項を記入の上、データを送信していただきます。



本学で、データを確認後（※）、メールアドレスにIDとパスワードを送付いたします。

## 北大との絆をつなぐ一枚



UCカード株式会社  
北海道大学カード

三井住友カード株式会社  
北海道大学カード

### 申込み

UCカード専用ページから申込み



<https://www2.uccard.co.jp/card/lineup/hokudai.html>

三井住友専用ページから申込み



<https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp>

北大事務局から申込み

専用申し込み用紙を送付いたしますので、下記欄にお名前・ご住所をお知らせください。カードは、お申し込みから約1ヶ月後に、カード会社からご自宅にお届けします。

北海道大学カードが北大学生を支援する仕組み  
北海道大学カードへの入会による取次手数料及びカード利用額に応じた提携手数料がカード発行元の北海道大学連合同窓会に還元され、これを「北大学生支援資金」として北海道大学に寄附し、「奨学金」、「留学支援金」、「課外活動への費用援助」等に役立ててもらおうとしています。

# 北海道大学カード

本学卒業生、教職員又は、在学生父母の方限定



※1カードのみ



北海道大学  
HOKKAIDO UNIVERSITY

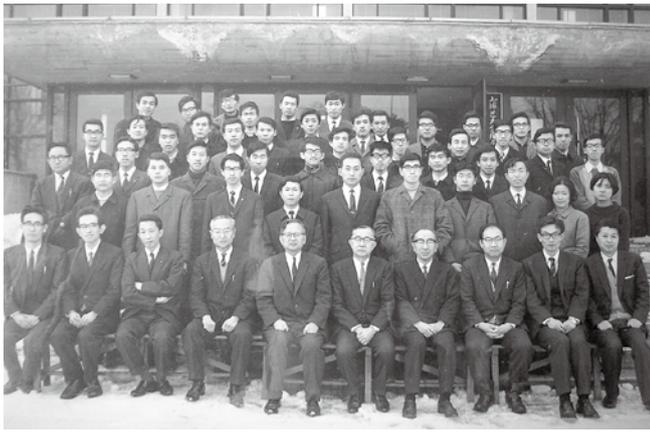
〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目  
北海道大学連合同窓会事務局（北海道大学総務企画部広報課）  
電話：011-706-2012/2072 FAX：011-706-2092  
E-mail：kouhou2@jimu.hokudai.ac.jp

# 卒業50年の同期会

伊藤ゼミ 北澤 治雄

札幌近郊に在住の10人が幹事となって平成27年9月に同期会を開催することになりました。

平成27年というのは、北大に入学したのが昭和40年、それから50年という区切りの良い年だからです。我々同期の唯一の証拠写真は、卒業式の後に学部集合して皆で撮った写真だけです。この写真には、先生が10人、卒業生が42人しか写っていません。他にも写真があるはずだと主張している同期生も居ますが真実は、分かりません。学校の卒業生名簿によると卒業生86名ですが、物故者が10名



卒業記念写真

連絡付いたのが59名、今回の同期会への参加者が21名でした。当日は、北大に集合し、軍艦講堂を訪れ、夜は定山溪のふる川で懇親会を行いました。この50年間のそれぞれの人生を振り返り、青春時代の思い出と今は殆ど現役を離れ第2の人生を過ごしている友人達との再会を大いなる財産として心に留めます。

伊藤ゼミ 西村 求

在札の経済44年卒者が、卒業50周年の同窓会開催について話題にし出したのは3年前くらいだったろうか。しかし70代半ばの年齢で集まる側も、集める側も大丈夫だろうかという心配を現実の問題と考へざるを得なかった。

そこで計画されたのが今回の入学50周年記念同窓会である。一昨年から何回かの幹事会を経て、数十名に案内を発信した。結果、平成27年9月8日、道内外女性1名を含む21名がエルムの園に集まった。構内レストランで昼食の後、懐かしの軍艦講堂を見学。うち18名が定山溪のふる川に移動、懇親会となった。各自3分間スピーチでこれまでの経歴等を紹介するなど、実に楽しい一晩であった。終了後今回の集合写真と卒業写真を各自ごとに並べ、比較してみた。40数年前の若者もそれぞれ素晴らしい顔であるが、やはり人生を重ねてきた今の皆さんの顔の方が、深い深い味わいがあると感じた。実に思い出深い集りだった。



北大軍艦講堂にて

内海ゼミ 宮前 匡雄

参加しての感想を少し書きます。本当に恵まれた学生時代だったと思う。大学の自然環境や施設は言うまでもないが、何よりもご指導頂いた先生方に恵まれ、仲間達に恵まれていたことを、今回改めて痛感した。

今回集まった仲間は、皆さんそれぞれ、ご指導頂いた先生とゼミの事を、50年近い年月が経過した今でも大切にされている。私は内海ゼミだが、内海先生のあの公私に亘る濃密なご指導は、感謝等と言う陳腐な言葉では言い尽くせない。今でも驚嘆の感情が鮮明に蘇る。

今回参加した仲間と、「軍艦講堂」や、宿での懇親会、往復のバス等で、プロックゼミでの奮闘など学生時代の思い出を懐かしく話し合え、実に楽しかった。

参加した仲間の一人が、「みんな実によく顔になっている」と評していたが、私も同感だ。

仲間の顔には、それぞれの個性と落ち着きが刻まれているように感じた。

地域でのボランティア活動など、社会に対し、自分の人生に対し、生真面目に向き合っている様子を頼もしく聞いた。良い仲間恵まれていたものだ。

内海ゼミ 笹 光一

昨年の9月8日〜9日、1泊2日の日程で経済学部昭和44年卒同期会が開催された。北大構内「エルム」での昼食会から定山溪温泉「ふる川」での懇親会、翌日の解散に至るまでのスケジュールを終え、準備に携わって来た幹事の一員とし



ふる川にて

て、安堵と喜びの気持ちを禁じ得ない。参加者の中には札幌及び近在に居住し、年に1度は酒を酌み交わす連中もいれば卒業後初めて顔を合わせる仲間もいる。学部でも殆ど話したことが無かった人間さえいる。

そういう同期生達に共通して感じられたのは、変わらない北大「愛」と人生の重みであろうか。卒業写真に写っている若々しく希望に満ちた眼差しとは比べようもないが、半世紀近い人生をしっかりと歩んできた自信や余裕といったものが感じられた。不参加だった仲間も含め今後のご健勝をお祈りしたい。

真野ゼミ 土代 敏明

昨年九月、同期会の懇親会前の雑談では、健康問題で話が盛り上がり、高血圧、高脂血の処方を受けている身として、肯く話ばかりで、もうすぐ古希だし、さらに日常の所作に気を遣わねばと思っていたところ、その後、歩道と車道の段差を見誤り、前のめりに転んでしまい、1センチほどの腱板断裂を右肩におこして修復手術を受けることとなり、今はリハビリに励んでいます。現役を終えた後、体力維持のために筋トレを続けてきたものの、それでは上半身、下半身の筋肉は鍛えられても、咄嗟の身の熟しを保つていくことは難しいのだなあと、高齢での外科手術はもう懲り懲りだなあと、咄嗟の事態が起きないように周囲状況への目配りにも意識的にならなければ!と今は肝に銘じています。また、他人様に迷惑をかけることなく、仲良く互いに支え合いながら残りの人生を楽しく送ろうよと家内としみじみ語らう今日この頃です。

佐々木隆生先生の古希のお祝い会

清水 一史

昨年10月10日に東京神田学士会館にて、佐々木隆生先生の古希のお祝い会が開催されました。大変盛り上がった古希の会となりました。その日は、まさに佐々木先生の70歳の誕生日でもありました。

古希の会では、午後4時から佐々木先生のご講演を行いました。今回の講演は、「現代における自由の諸問題」という題で、「2009年3月6日の北海道大学での最終講義では、『国家、組織、市場、国際関係がより個々の人間を規定する時代に人間はいかにして自由でありつるのか』という課題から出発して経済危機を取り上げたが、今日は、自由の概念それ自体にもう少し踏み込んでみたい」というものでした。在学当時のゼミを思い出しながら、大変多くの質問が出され、とても活発な講演会でした。次の講演会も、近い内に開催したいと思います。

午後6時からの懇親会は、小野雄吾君(9期)の司会で進行しました。高橋大蔵さん(1期)による乾杯としばしの歓談の後には、同窓生の皆さんから若い順に一言ずつ頂きました。先生へのお祝いとともに、各期の当時のゼミの話など大



変面白い話をお伺いする事ができました。また古希のプレゼントが、プレゼントターの日利美恵子さん(8期)から佐々木先生に贈られました。先生のご挨拶の後、浪岡大介君(13期)の前口上で、恒例の「都ぞ弥生」を皆で斉唱しました。やはり北大の同窓会の締めは、「都ぞ弥生」ですね。その後は、ほぼ全員が2次会へ、そして3次会へと深夜まで大いに交歓しました。

この会には、全国各地から70人以上の方が出席頂きました。1期の方も多くの方が来られ、楠順一さん(1期)には月形町から参加頂きました。また公共政策大学院元教授の木幡浩氏にも参加頂きました。懇親会には、近くの学会に出席中だった北大法学研究科の遠藤乾氏、成蹊大学法学部の遠藤誠治氏も参加してくれました。

いつも幹事をお願いする小野君(9期)をはじめ、日利さん(8期)、山口浩一君(14期)、水谷伸政君(22期)、佐々木孝広君(25期)に、幹事をお願いしました。色々どうもありがとうございました。

なお、講演会の前には、安藤研一(7期)、静岡大学、成田真樹子(15期)、長崎大学、黒瀬一弘(18期)、東北大学、工藤健(21期)、長崎大学、穆莞芋(26期)、環日本海経済研究所、南川高範(26期)、環日本海経済研究所)の諸氏と世界経済に関する研究会を行いました。

これまで佐々木ゼミの同窓会と佐々木先生のお祝いは定期的に開催しています。1993年のゼミ15周年記念(支笏湖レイクサイドホテル)、1997年のゼミ20周年記念(支笏湖レイクサイドホテル)、2005年の佐々木先生還暦記念(東京学士会館)などの際に、同窓

生が集まっています。2009年3月の先生の北大経済学研究所退官の際には、退官記念講義と当日の謝恩会、次の日の佐々木ゼミ記念同窓会に、大変多くのゼミ同窓生が集まりました。また2010年9月には東京学士会館で、佐々木先生の最新刊の御著書『国際公共財の政治経済学』(岩波書店)の合評会とともに同窓会を行いました。

是非また集まりたいと思います。次は佐々木先生の喜寿あるいはその前に集まっても良いと思います。皆さん、楽しみにしているようです。

最後に私事ですが、私も九大経済が19年目となり、ゼミ生ももう19期生です。卒業論文集とともに、佐々木ゼミの『パングア』のような文集『志賀島』も発行を続けています。もちろん世界経済とASEANの研究も続けています。是非福岡でもお会いしましょう。また九大では、九大経済の同窓会の学内理事も務めています。北大経済の同窓会も少しでも支援出来ればと考えています(北大経済同窓会事務局の皆さん、どうぞよろしくお願いたします)。

皆さま、是非また同窓会や多くの集いにて、お会いいたしましょう！佐々木先生、ずっとお元気でいて下さい。



# 同窓生の近況



## 北大経済学部を離れて今

岩崎 俊夫（昭和48年卒業）

わたしは、1969年から82年まで北海道大学で過ごした。文系・経済学部学生として5年、大学院生（経済学研究科）として5年、研究助手として3年である。この間、人生の土台を構築した。北大を離れたわたしはこの3月、立教大学を定年退職した。

入学した69年には、入学式が学生による封鎖にあって中止となった。希望をもって入学したが、構内は荒んでいた。校舎の多くは封鎖され、講義はなく、学生運動がピークに達していた。今からは想像もできないが、中央ロビーは焼けただけ、封鎖された中央図書館の内部は水浸しとの噂が広がっていた。

1年半を教養部で過ごし、2年目の秋に経済学部に移行した。当時の制度では、文系の学生が入学時に所属するのは「文類」であり、2年の秋に学部選択をした。専門分野の講義を聴くのは、3・4年生である。現在の制度では、入学時にほとんどの学生が専門学部を決めるという（「文系総合」があるようだが）。

入学時に学部を決めなければならぬのであれば、今のわたしはなかった。立教大学経済学部で経済統計学の科目を担当することは、さらになかった。なぜならわたしは北大に入学前後、文学部に進むつもりだったからである。経済学部は遠い存在の学部であり、経済統計学に対する関心は全くなかった。それではなぜ経済学部に進んだのか。結論だけ書くと、わたしは経済学という学問を誤解していた。教養課程で学ぶなかで先輩、友人にめぐまれ、社会科学また経済学の本来の内容を理解できるようになり、この道を選択した。理解できるまでに1年半を要した。

北大での生活は自己形成の過程であった。入学後一年半ほどかけ勉学の進路を考える時間的ゆとりがあり、経済学という学問の内容に触れた。所属した松井ゼミナールではヒルファディング『金融資本論』を苦勞して輪読し、サブゼミでインターゼミ大会に向けテーマ（国際通貨危機など）に取り組んだ。熟考して決め

た進路なので、わたしにとつて最善の選択であった。経済学の初歩から、思う存分、この学問の奥行きを学ぶことができた。

立教大学の教員になり、まれに北大キャンパスを訪れる。45年前の喧騒は既になく、景観が整い、落ち着いた時間が流れている。既に外部の人間であるわたしには、贅沢すぎる環境に見える。それと比べると、わたしが25年間、勤務した大学のキャンパスは小さく、多数の学生がそこで学んでいる（経済学部の学生は一学年約700人、経営学部は別組織）。大学間の研究教育条件をめぐる競争は、



## 母校への「恩返し」

佐々木 俊夫（昭和57年卒業）

私は政府系金融に30年間勤務後、起業し、現在は都内で個別指導塾のオーナーをしております。さて、「親孝行したい時には親はなし」という言葉があります。私の場合もまさにそうでした。一昨年に永眠した父（北大予科→工学部土木

工学・昭和28年卒）には有形無形に大変面倒をみてもらってきたわけです。私も北大に進学したいと思った原点は、小学生の時に帰省を兼ねて札幌に連れて行ってくれた父が北大キャンパスを嬉しそうに案内してくれまして、その時の印象がとても強く素晴らしかったことにあります。また、親から独立して生活してみ

関東では熾烈である。キャンパスを一步出ると、繁華街・池袋の喧騒に飲みこまれる。

学生時代、寮歌「都ぞ弥生」の歌詞を理解していなかった。意味を調べたこともなかったが、冒頭の句に込められた心情は、東京での見納めの桜に惜別しつつ、作詞者・横山芳介氏が予科入学を前に抱いた「人の世の清き国」への憧れだった。このことを知ったのは、幾ばくかの時を経てからである。時代、立場を異にするがこの原稿を書いているわたしは清き国の思い出とともにある。

いとこの思いもあつたのですが、昭和53年、北大合格と同時に国鉄マンの父も札幌工事局長として赴任することとなり、3年間父と同居することになったのは全くの想定外ではありません。

父も私も北大に学んだわけですが、その現状を考えてみますと、法人化以降、国からの運営費交付金が削減されており、平成28年度予算では運営費交付金は前年度と同額が確保されたとのことですが、将来的には同交付金と自己調達資金の金額が同じ水準になるとのことです。つまり、自助努力が求められるわけですから、このような大変厳しい財政環境下で、札

幌農学校以来のクラーク博士の建学精神を承継する国内有数の基幹総合大学である北大は、スーパーグローバル大学トップ型として世界水準の研究成果、世界のトップ100大学入りなどが具体的に求められています。そのためには、アメリカなど外国の大学を見てもわかるように財政的な裏付けが必須であることは明らかです。このようななか、何か少しでも父への「恩返し」がしたい、また私自身も北大に「恩返し」をしたいとの思いがありまして、都立小石川高校出身の私としてはまず、東京同窓会へ120万円を寄付をさせていただき、それをきっかけとして東京同窓会の会合や催し物（ジンパ、クリスマスパーティー）にも参加させていただきました。また昨年、杉江東京同窓会のお口添えをいただき北大フロンティア基金の新渡戸カレッジに100万円、今年1月にはその倍額を寄附したところです。それと、経済学部同窓会は卒業祝賀会助成金・優秀論文賞として助成金16万円を支出されていまして、気持ちばかりではありますが、その金額相当分を寄附させていただきました。

北大フロンティア基金はいろいろな分野への寄附を募っていますが、大学として最も重視しているのが学部横断的にグローバル人材を育成する「新渡戸カレッジ」であるということです。昨年7月、フロンティア基金懇談会にご招待いただき、新渡戸カレッジご担当の新田副学長とお話しをさせていただきましたが、このような人材育成プログラムは北大にしかないとのことでした。また、初めて参加させていただきました。昨年の経済学部東京同窓会の懇親会（於・がんこ寿司）におきましても自己紹介のなかで話をさせていただきました。従来は懇親飲み会は、大学時代を思い出して楽しく酒を飲み、人脈も広がるなど大変有意義ではありませんが、居酒屋やホテルなどには金がかかりますが、残念ながら北大には1円も入らないわけです。当日は陣谷会長のご配慮により吉見経済学部長とも懇談させていただきました。やはり文科系学部においても財政的に厳しい状況にあることがよくわかりました。



## 挑戦あるのみ、刺激ある大学院生活

西村 洋亮（修士課程1年）

学部生の時には、何事においても「とりあえずやってみる」というテーマのようなものを掲げて生活していました。「様々な人と会話をする機会を作ろう」「海外で生活してみよう」「アルバイトをしよう」「友達とバカなことやってみよう」「国内外に旅行しよう」「難しいといわれる公認会計士試験に取り組んでみよう」「就職活動もしてみよう」など、振り返ると、4年間で多くの経験を積み重ねることができたと思います。

この経験を糧に、就職する道を選ぶことも考えましたが、私は大学院への進学を選択しました。まだまだ勉強したい気持ちや、もっと自分の将来について時間をかけて考えたいという思いが先行しての選択ですが、それらの理由に加え、「大学院に進学してみたい」という、ある意味では向こう見ずな好奇心も働いてしまったように思います。

今は大学院の授業の中で、新たな刺激のある環境にもまれていきます。たとえば、会計専門職大学院を除くと、経済学部の大学院に所属する学生のほとんどは留學生で構成されています。そのため、教室の中にいる学生は私を除いて留學生……なんて状況も珍しくはありません。初めのころは、一人で教科書を眺めて授業までの時間を過ごしていましたが、最近ではこの状況にも慣れ、積極的に留學生とも会話をするようにもなりました。また、大学院での授業は英語や数学を使う機会も増え、私の学部時の専攻が会計学だったこともあり、慣れない分野での勉

昨年11月、北大への支援体制強化を目指す連合同窓会から「北海道大学校友会（仮称）」構想が発表されましたが、幅広い分野にわたり大変充実した内容であると思います。この会報が発行される頃には校友会が発足しているかと思われませんが、今後、経済学部卒業生も「オール北大」体制のもとで、母校のさらなる発展、飛躍に貢献していくことが大いに期待されていると思います。

札幌のお部屋探しならノースステイ

## North Stay

North Stay は、札幌でウィークリー・マンスリーマンションや家具家電付の賃貸マンションを運営しております。ご旅行や出張など、お客様のあらゆるシーンにあわせて、快適な住居空間をご提供させていただきます。

（ノースステイホームページ）  
www.north-stay.com/

札幌市内トップクラスの情報量

## 札幌オフィス検索

札幌オフィス検索は、札幌の賃貸事務所・オフィスなどへ移転をお考えのお客様に最新の物件情報をご紹介します。ご紹介物件数・更新頻度ともに札幌エリアではトップクラスです。仲介手数料半額による格安なコストでの移転をサポートします。

（札幌オフィス検索ホームページ）  
http://of-sapporo.jp/



株式会社 賃貸生活  
代表取締役 猪又 将哲

こちらのフリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください

【ノースステイ受付窓口】

フリーダイヤル  
0120-277-271

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西7丁目10-3 第28桂和ビル2階  
TEL 011-330-0077 / FAX 011-222-7093

【札幌オフィス検索窓口】

フリーダイヤル  
0120-989-865

〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西7丁目10-3 第28桂和ビル2階  
TEL 011-330-0077 / FAX 011-222-7093

強にも四苦八苦しています。このように、思った以上に大学院での生活は挑戦に溢れています。就職した同期も様々な壁に当たり、努力や挑戦をしているようですが、その様子も大学に残った私の学習意欲の刺激となっています。

ちなみに、大学院での研究テーマは「地域経済」を軸に考えています。学部生時代の様々な経験の中で、札幌への愛着がより強くなったことがきっかけです。札幌という特色のある地方都市が、より望ましい成長をするためにはどうしたらよいか、ということに日々頭を悩ませていきます。そもそも「望ましい」成長とは



## ゼミの先輩の下で働いて

内山 正明 (昭和55年卒業)

何なのか、それは経済成長なのか、文化的成長なのか、そして理想に近づくための具体的な施策はどうすべきなのか……一見、同じ北大内にある公共政策大学院で扱うようなテーマではありませんが、より経済的な視点から考察できればと考えています。また、学部生時代に学んだ会計学の視点から、財務や経理、会計システムといった組織内部に関する分野からの視点も生かしていければと思っています。挑戦を重ね、その経験を糧にまた挑戦していく。そんな積極的な姿勢で、大学院生としての2年間を有意義に過ごそうと思う毎日です。

(と思うのだが…)。気になることがあれば、深夜でも早朝でも携帯が鳴った。(愛の鞭? そうは感じられないなあ。でも指摘はその通りだ。何も出来ないのが合併会社の実情。言われる内が花と感謝して、課題をすべてやっつけて見返してやろう) 夜な夜な心に誓う日々が続いた。

朝一番、社長室の電燈がまだ灯いていないことを確認して一日が始まる。

会計、財務、為替予約、審査、契約、債権回収、精算システム開発と管轄は多岐に亘った。当時、リーマンショックもあり代理店倒産が相次いだ。債権回収が脆弱であった社は苦杯を舐めることが続いており、社長の危機感も募っていた。札幌の大手代理店倒産時には、債権者集

会にまで出掛けて管財人に意見し、外資代理店の夜逃げの際には、登記簿から香港の代表者自宅を調べて、自分が元居た、香港支店に通告書を配達させたのもこの頃だ。これも経験と自ら何でもやってみた。部下に任せています。社長への説得力に欠ける気もしたのだろう。宿題は二年間ですべて達成して御釣りが来たが、緊張、重圧、激務のなかで最も充実感があつたのがこの頃だ。まさにゼミの先輩のお蔭なのだ。回顧して思うのではなく、当時、私はそれを実感していた。

先輩からは経営の多くを学ばせて頂いた。心に残しているものが三つある。まずは資金管理。企業経営は「現金」で回っている。「子会社に余資を持たせぬ配当政策を作れ」「余資はすべてグループ本体に還流させろ」年商2千億円に届こうとしていた販売規模ながら、現預金

の期末残高は数千万円に絞り込んで余資を本体に預託した。また、代金回収サイトを月一回から旬毎に変更して、一日でも支払いが遅れると、自動的に次回請求に延滞利息が乗せられるようシステム改修もした。販売サイドからは猛反発があつたが、財務に理解を示す社長の下でなければ出来ないという全力で取り組んだ。その成果はすぐに現れた。取引先倒産時の被害は大幅に縮小し、常態化していた数日単位の支払遅延もなくなった。

二つ目は、本分に徹する組織人としての姿勢である。「経理がやりたいのが山々ですが、販売部門を考えると、この策は展開しにくいと思われませう」

「それはお前の考えることではない。経理的な観点に徹しろ」そうか。まずは、経理としての専門的な判断を明確にするのが私のミッションだ。各部門が専門性から逃げた論理構築をしては組織が立ち行かなくなる。後は上位の経営者が判断するのだと。そして三つ目は、経営者としての厳しい要求である。

環境や部下の状況を汲んで理解を示すが故に、経営者として求めるべきものに妥協があつてはならない。現状からは実現不可能と思える指示も多かったが、その厳しいビジョンと方向性の提示がなければ組織は動かない。成すべきことも成されなかつただろう。

数年間、部下として修行を積んだことが、その後の人生で有効に私を導いてくれている。

四十物先輩は、その後、ANA常勤監

「社長が呼びですよ」秘書が笑みを湛えてデスクまでやって来る。「本日2回目の出頭ですね!」

「おう、ところであれはどうなった? もう出来たの?」と社長。私一人で動くことも出来ないの、もう少し時間は掛かりますよ。でも必ず実現します。堪えて待つことも必要ですから。

「いいから、さっさとやれえ!」はい。承知しました」

今から8-9年程遡るが、その頃はこんな遣り取りが一日に数回はあつた。当時、私はANAの航空券販売・旅行会社に出向し、経理部長(後、取締役経理部

長)の職に就いていたが、直属上司となつた社長、四十物 実(アイモノ・ミノル)氏は、奇遇にも、北大経済学部の6期上で同じ所ゼミ(故 所哲也教授・国際経済論)の先輩であつた。氏は、ANA札幌支店長の後、上席執行役員として営業推進本部副部長を兼務の儘、グループの最大子会社のANAセールス(株)に社長として着任されたのだ。国内旅行・海外旅行の販売会社3社を統合して出来た会社だつた。我々は、会社合併後5-6年目を一緒に働くことになつた。同じゼミの後輩であつたからだろう、逆に、私には格段に厳しくあたられた



の提案・構築に携わってきました。そして、北海道を離れて以来三十余年、いまだ不惑を知らず、天命に思いを馳せることもないまま五十五歳での新たなチャレンジです。

これまででは、会社はかわっても、お客さま訪問先は東京・大阪にあることから、札幌出張は二十年以上前に一度の展示会参加があつたのみでした。ところが、この一年間の札幌出張は既に五回を数えています。現職では、通信事業者各社のみならず一般企業や自治体・大学へのビジネスを所轄しており、北海道庁・北海道電力・北海道総合通信網・はまなすインフオーメーション他、道内に多数のお客様がいらつしやるためです。

そして、我が母校北海道大学も重要なお客さまであり、初めて訪問したのは昨年7月のことでした。その際に、北大ホームページで目にとまったのが、「ホームカミングデー2015」の案内でした。仕事で訪問の際には、キャンパス内をゆっくり見る機会がなかなかないため、内容は後回しとしてさっそく参加申込みをいたしました。

正直なところ、久しぶりにクラーク会館に入ってみようかな、とか、生協食堂で何か食べようかなと思つていた程度で、ホームカミングデー行事にはあまり関心はなくそれほどの期待も持っていませんでした。ところが9月26日に参加してみると、ハヤブサ2についての記念講演は大変面白く、そして、クラーク会館での食事は会費から生協カレー程度を思い描いていた私の

予想をはるかに上回る豪華で美味しい料理とお酒が提供され、手作り感のある大変あたたかな雰囲気の中、忘れかけていた都ぞ弥生を否応なく思い出さされた一日となりました。そして、何よりも先輩諸氏のバイタリティーあふれる姿に大変驚かされ、感銘を受けたひとときとなりました。

そこで知り合えた諸先輩との縁で、その後銀座で開催された東京同窓会にも参加させていただきました。札幌市電ループ化についての特別講話も大変興味深いものでした。

北大ホームカミングデーは、毎年9月の最終土曜日に開催されることですので、是非参加をお勧めしたいと思えます。私も出張の都合をつけて参観したいと考えています。

最後になりましたが、私のビジネス近況を少しだけ。最近ニュースや特番で頻繁にとりあげられているように、「サイバーアタック」や「悪質なソフトウェアによるウイルス感染による情報漏洩」、そして、「ランサムウェア」と呼ばれるデータアクセスを人質とした身代金型等によるセキュリティ被害が増加の一途をたどっています。フォータィネット社はグローバルおよび日本においてトップマーケットシェアのネットワークセキュリティベンダーであり、イン

ターネットオブシングス(IoT)といわれる、自動車・家電等すべてのものがインターネットにつながる時代に向けて、私の札幌出張はしばらく続きそうです。ネットワークセキュリティに興味のあるかたは、私の北大同窓生メールアドレス(hiroshi.wada@frontier.hokudai.ac.jp)までお問い合わせいただければ幸いです。



## お客様の「想い」をカタチにする!

わたしたちの仕事は、総合印刷会社として  
 たくさんの選択肢から幅広い視野で  
 お客様に必要なピースをしっかりと選び、  
 お客様の想いをしっかりとカタチにします。



TOTAL PRINTING  
**株式会社 須田 義版**

www.suda.co.jp/

札幌本社：〒063-8603 札幌市西区二十四軒2条6丁目1-8  
 TEL.011-621-1000 FAX.011-621-1500

旭川支社・釧路支社・苫小牧支社・関東支社・滝川営業所・帯広営業所・北見営業所



同窓会事務局のもとに、西川博史・北海道大学大学院研究科長が追悼の原稿を寄せられましたので掲載します。

長岡新吉先生が2015年11月1日にご逝去されました。長岡先生は、30年余にわたり学部・大学院において日本経済史の研究と教育に携わり、この間、評議員、学部長・大学院経済学研究科長などの要職を歴任され、先生の研究・教育・大学運営への功労を称えて、2009年春に瑞宝中綬章の叙勲を受けられました。

長岡先生の北大での最初の研究は、日本資本主義の確立期に関するものでした。農学校以来北大に集積されていた膨大な史料を駆使されて、資本主義の確立とはどのようなことを意味するのかを解き明かすことでした。ゼミナールのテーマもこのことに関するものが主となり、ゼミは時間を問わず、長時間に及び、その後も場所を換えて、日本酒の香りと、煙草の煙霧が充満する「縄のれん」や「三四郎」等で続けられました。その成果は『明治恐慌史序説』（東京大学出版会、1971年）として纏められました。

その後、長岡先生の研究領域はさらに広がっていきました。日本経済史の分野を超えて、日本の近代化や日本資本主義の性格に関する理論的・歴史的分析へと移り、1920年代以来の日本資本主義論争そ



のものを研究対象にするようになりまし  
た。もちろん、ゼミのテーマも「論争」の意義を徹底的

## 長岡先生を偲ぶ

に追究する論争の様相を呈しました。この頃の「大学闘争」をめぐる状況を反映して、「ゼミ後」のゼミはより現実味を帯びたものとなり、「論争」することが学問の深淵へとつながり、さらに楽しいものになりました。こうして、綿密な研究史批判と新しい人物像や業績発掘のうえに築かれた研究成果は、これまでの研究史を一新する『日本資本主義論争の群像』（ミネルヴァ書房、1984年）として上梓され、現在もなお、ひとつの到達点として、極めて高い評価を受け続けております。

こうした研究と並行されて、独自の資本主義観を提示した猪俣津南雄研究、戦前・戦後のユニークなリベラル派の経済思想家・政治家と知られる石橋湛山の研究でも大きな業績を残されました。こうして、先生の研究は明治大正期から昭和の戦時・戦後へと進んでいきました。それは、旧日本帝国の植民地・中国占領地を対象とする研究であり、さらに新しいヨーロッパ経済史の研究成果をも取り入れた東アジア経済史研究に挑戦されることでした。これが長岡先生の第3段階の研究でした。こうした研究成果は、共同研究の共編著『日本経済と東アジア―戦時と戦後の経済史―』（ミネルヴァ書房、1995年）と共編著『世界経済史入門―欧米とアジア』（ミネルヴァ書房、2002年）として結実しました。

長岡先生は、学識のみならず包容力と温厚な人柄をもって、学生に接してきました。すでに述べた「ゼミ外ゼミ」はいうまでもなく、各種のゼミ旅行やゼミ行事にも参加され、かげがえのない数多くの「思い出」を残してくださいました。誰もが先生の逝去を惜しみ、先生の恩愛に深く感謝しております。ここに謹んで心よりご冥福をお祈り申し上げます。

西川博史 記

## 北海道大学認定

同じ札幌の地で歴史を育む「札幌唯一の酒蔵 千歳鶴」が、創業140余年の伝統の技で丹念に醸し上げました。原料米は北海道が誇る酒造好適米「吟風」を使用した北海道産100%のこだわりの逸品です。



斜めにも置くことができます。

180ml詰  
822円(税込)

梅酒  
雪の天使たち



500ml詰  
2,400円(税込)

特別純米  
ポプラ並木



500ml詰  
2,900円(税込)

大吟醸  
ポプラ並木

札幌市北区北8条西7丁目  
北大グッズ受注センター ④エルムプロジェクト 担当/近澤  
TEL011-708-0388 FAX011-708-0389 <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp>

お問合せ先

札幌市北区北8条西4丁目(北大構内)  
北大ショップ 北大交流プラザ エルムの森ショップ  
TEL011-708-7540

売上金の一部は、北海道大学の運営費に充てられます。

●お酒は20歳になってから。●妊娠中・授乳期、また自動車・機械等の運転前、運転中の飲酒は避けて下さい。●お酒はおいしく適量を。●表示価格はメーカー希望小売価格(税込)です。

日本清酒株式会社 札幌市中央区南3条東5丁目2番地 ☎011-221-7106 <http://www.nipponseishu.co.jp>

名刺広告

株式会社 石川物産館  
恵愛ビル

代表取締役

吉中 新太郎

(経 昭和30年卒)

〒064-0804  
札幌市中央区南四条西四丁目十八番地  
電話代表011(271)0011番

弁護士 公認会計士

伊東 孝

(経 昭和34年卒)

札幌市中央区大通西十丁目南大通ビル  
TEL011(271)2475  
FAX011(281)5809

からだが不自由な子供たちの図書館  
公益財団法人 ふきのとう文庫

代表理事

高倉 嗣昌

(経 昭和36年卒)

業務執行理事

阿久津 良二

(経 昭和37年卒)

札幌市中央区北6条西12丁目8-3  
TEL011(222)4839

中川原・石黒税理士事務所  
税理士

中川原 慶憲

(経 昭和41年卒)

札幌市中央区南一条東一丁目番十号  
第3泊ビル  
TEL011(271)8462

山田建一税理士事務所  
税理士

山田 建一

(経 昭和41年卒)

札幌市北区北十九条西五丁目一番十九号  
TEL011(746)5646

札幌監査法人

代表社員 公認会計士

高野 一夫

(経 昭和45年卒)

札幌市中央区南一条西十一丁目新永ビル  
TEL011(261)7512

山崎公認会計士事務所  
公認会計士 税理士

山崎 駿

(法 昭和45年卒)

札幌市中央区南二条西五丁目  
電話011(211)1786

弁護士

吉川 正也

(経 昭和46年卒)

札幌市中央区大通西十丁目南大通ビル4階  
TEL011(261)6677

上野公認会計士事務所  
公認会計士

上野 昌美

(経 昭和47年卒)

札幌市中央区南23条西9-1-25  
TEL011(522)8170

遠藤公認会計士事務所  
公認会計士

遠藤 昭一

(経 昭和48年卒)

札幌市東区北二十二条東十八丁目三番二号  
TEL011(783)8123

社団法人日本クレジット協会  
会長

杉本 直栄

(経 昭和48年卒)

札幌市中央区南一条西五丁目十四番地  
大友ビル四階(南一条通り)南向き  
TEL011(218)3566

弁護士

工藤 倫

(経 昭和50年卒)

札幌市中央区北五条西十二丁目一番地  
ベルックス北五ビル B館二階  
TEL011(261)5275

田中利男税理士事務所  
税理士 中小企業診断士

田中 利男

(経 昭和50年卒)

札幌市中央区南3条西6丁目3-12  
南3条グランドビル601  
TEL011(261)2061

株式会社ターフテック  
代表取締役

宮本 裕司

(経 昭和50年卒)

北広島市大曲工業団地五丁目一番地二  
TEL011(377)4011

北大経済学部東京同窓会  
会長

陣谷 義直

(経 昭和51年卒)

岩本敏美税理士事務所  
(株)イワトママネジメントサービス  
税理士代表取締役

岩本 敏美

(経 昭和53年卒)

〒007-0834  
札幌市東区北34条東7丁目3番20号 イワトビル2階  
TEL011(214)1176

不動産鑑定士 宅地建物取引士

目黒 健兒

(経 昭和54年卒)

メクローブス株式会社 代表取締役  
札幌市中央区南一条西六丁目十四番地  
大友ビル四階(南一条通り)南向き  
TEL011(218)3566

監査法人ライトハウス  
代表社員 公認会計士

北村 好孝

(経 平成4年卒)

札幌市中央区南一条西11丁目コンチネンタルビル  
TEL011(232)7102

監査法人ハイビスカス  
代表社員 公認会計士

堀 俊介

(経 平成6年卒)

札幌市中央区南一条西9丁目井門札幌S109ビル  
TEL011(826)5265

吉田大吾税理士事務所  
税理士

吉田 大吾

(経 平成11年卒)

札幌市中央区南一条西七丁目一番地  
都市ビル7階  
TEL011(212)1412

中村泰道会計事務所  
所長(公認会計士 税理士)

中村 泰道

(経 平成12年卒)

札幌市北区北7条西2-20 東京建物札幌ビル2階  
TEL011(209)2624  
E-mail: y-nakamura@nakamura-cpa.jp

牧田税理士事務所  
税理士

牧田 秀崇

(院経済 平成22年卒)

苫小牧市音羽町1丁目8番6号  
TEL0144(34)0385  
URL: http://www.taxmakita.com

同窓会サポート企業

SALAT 株式会社 サラト

■本社  
兵庫県姫路市北条宮の町172  
〒670-0948  
Tel.079-284-1380

■東京支社  
東京都台東区台東4-18-7 シモジビル5F  
〒110-0016  
Tel.03-3832-6381



http://www.salat.co.jp



平成28年

北大経済学部同窓会・懇親会のご案内

例年同様、大学のホームカミングデーに合わせて講演会、同窓会総会、懇親会を左記の通り行います。ご都合に合わせてどこからご参加いただいても構いません。秋の一日、お誘いあわせの上お気軽にお出掛けください。

日時 平成28年9月24日(土)

講演会 14時～16時30分

「地域を創造する人育て」

パネラー 笹原晶博 北海道銀行頭取ほか

人文社会科学研究棟(通称W棟) 103号室

(博物館の対面、文系4学部の丁度中間です)

同窓会総会 16時45分～17時15分

講演会隣接の「軍艦講堂」2番教室

懇親会 17時30分～19時00分

構内「北大生協 中央食堂」2階

会費 3,000円(同伴ご家族2,000円)

受付 当日受付(事前の申し込みは要りません)

平成28年7月期 収支報告書

自 平成27年8月1日 至 平成28年7月31日

	項目	金額(円)	備考
収入	前期繰越金	4,439,251	
	会費収入	1,529,568	終身会費39名ほか
	広告収入	300,000	会報31号
	總會収入	99,000	懇親会会費
	その他	163,537	寄付(佐々木俊夫様)ほか
	計	6,531,356	
支出	消耗品費	52,510	プリンター購入他
	会議費	0	
	總會関連費	94,199	懇親会費用
	助成金	160,000	卒業祝賀会助成、優秀論文賞
	通信費	340,864	会報発送代、往復はがきほか
	会報作成費	511,425	会報31号
	旅費	35,380	東京同窓会出席
	事務費	600,000	事務局実費
	印刷費	25,900	
	雑費	16,999	大学提出書類他
	計	1,837,277	
	次期繰越金	4,694,079	
	合計	6,531,356	

岩本栄一 (昭和49年卒) 事務局	田中賀代子 (平成7年卒)	河合愉美子 (昭和61年卒)	宮本裕司 (昭和50年卒)	佐藤市雄 (昭和42年卒)	中川原慶憲 (昭和41年卒)	斎藤洲男 (昭和37年卒)	高倉嗣昌 (昭和36年卒)	上野昌美 (昭和47年卒)	会報編集委員 (編集委員長)
-------------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------

編集後記

- 北大キャンパスを歩いていると多くの外国人旅行者に遭遇します。彼らの観光案内書には人気スポットとして紹介されています。アジアの人達の北国、特にその自然への憧れは強く、彼らの目に北大は歴史的な事物を含めて魅力的に映るのでしょうか。今号の表紙は、中央ローンを流れるサクシュコトニ川に遊ぶつがいのカモにしました。
- 経済学部ではゼミの恩師、先輩、仲間とは卒業後も強い絆で結ばれています。若い時は先生が上京してきた、本を出されたと言ってもは駆けつけ、仲間が結婚や転勤をすると聞いては居酒屋に集まったものでした。今号から「ゼミ紹介」を企画しました。これを機会に、もしご無沙汰続きでしたら出身ゼミの先生を囲んで一度集まってはいかがでしょうか(その様子を写真撮って同窓会事務局にお送り下さい)。
- 「同窓会を手伝ってみたいよ」と仰る方を募集しています。札幌と東京では様々なイベントを行い、またこれからも新しい試みも実行したいと思っています。お気軽にご連絡ください(dosokai@econ.hokudai.ac.jp)。
- 最後にお金のお話で恐縮です。お陰様で同窓会費の入金状況はやや改善されましたが、それでも厳しい台所事情が続いております。皆様には会費(年会費、終身会費)納入を引き続きお願い致しますとともに、本会報の企業広告や名刺広告もご検討下さいませようお願い申し上げます。

(岩本 記)



## 同窓会費のお願い

いつもお振込をいただき、ありがとうございます

同窓会の諸活動や会員への連絡などは、言うまでもなくすべて皆様からの会費でまかなっております。

昨年度も「終身会費」をはじめとして多くの方々に年会費をご入金いただきました。

同窓会事務局ではこれらの貴重な会費を一円も無駄にしない覚悟で、予算範囲内の活動を続けております。

法人化以降、大学は同窓会に対して様々な面で多くの期待を寄せてきています。今後は同窓会としてもこれを正面から受け止めて責任ある対応をしていかねばなりません。

また、同窓会相互の親睦や交流の場も増やしていきたいと思っています。

**年会費 3,000円**

**終身会費 30,000円**

振込方法

●郵便局、コンビニの場合

同封の「振込取扱票」にてお願い致します。払込料は同窓会負担。用紙にご注意。

●銀行振り込みの場合

北洋銀行本店営業部 普通 0666955 北大経済学部同窓会 会長 上野昌美  
北海道銀行本店営業部 普通 0754677 同上

○住所、勤務先などの変更については、事務局までお届け下さい。本学部の卒業生は転勤も多くつい届け出を忘れがちで、毎年かなりの会報が「宛先不明」で返ってきます。メール、電話を宜しくお願いします。



(株)ブライダルは北海道大学経済学部同窓会の皆様の「結婚」を応援します。

### 38年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも「結婚」という形で社会に貢献できる企業を目指しており、特に北大校友の皆様には平成18年より「北海道大コース」を設け、多くの方にご利用頂いております。この「北大経済学部同窓会報」を見たおっしやっただされば、校友の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に「結婚」を特典付(登録料50% OFF)にてお世話させて頂きます。

## 北海道大コース

登録料 **50% OFF**

ブライダルコース ¥226,800 ▶ ¥210,600 etc.

エクセレントコース ¥388,800 ▶ ¥372,600 etc.

●価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。



下のQRコードにて携帯サイトに簡単にアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)



株式会社 **ブライダル**

Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F  
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F  
大阪支社 〒530-0001 大阪府北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング6F

お問い合わせ  
(月曜定休)

**0120-415-412**

ホームページ <http://www.bridal-vip.co.jp>  
携帯サイト <http://www.bridal-vip.net/m/>



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。